

# 新入荷商品のご紹介



衿はもちろんのこと単衣にも最適な究極の一反。シンプルなので帯合わせがしやすく、それでいて上質な本物の風格。

板締め緋 (白鷹お召)

七宝柄

540000円



透け感のある帯屋捨松の夏の名古屋帯。涼しげで見るものに涼を呼ぶ珠玉の逸品。

帯屋捨松

夏八寸帯

葡萄柄

129600円

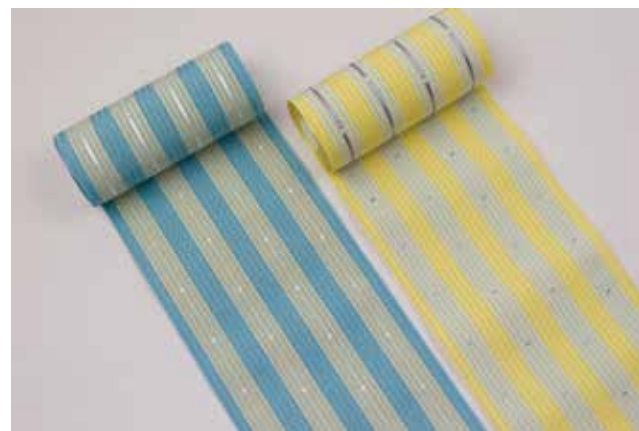


夏の定番アイテムといえば、パナマの草履。上質で美しいパナマは貴重で、気候や産地によって色合いが異なるため、なかなか気に入った色合いのものを探すのは大変です。涼やかでシンプルな鼻緒と合わせて、この夏のお出かけが今から待ち遠しい。

和想庵

パナマ夏草履

37260円



涼を呼ぶ透け感とセンスのいい色使いが印象的な西村織物の単衣半幅帯。これからの季節涼やかに博多帯の締め心地を堪能できる逸品です。

西村織物

夏半巾帯

24800円

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

# きもの新聞 2017年5月号

## ごあいさつ



ゴールデンウィークも終わり、これからいよいよ夏真っ盛りです。ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか？かわちやはカレンダー通りの営業だったので、相変わらず普段通りの日常を過ごし、なんとなく消化不良の連休でした。さて、これからの時期は単衣から夏物に代わっていきますが、夏こそ着物の楽しみの神髄です。まだ夏物の用意をされていない方は是非かわちやをご相談下さいね。

## 特集 板締め緋 (白鷹お召) について

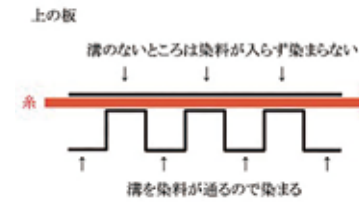
1年前から注文していた白鷹お召の板締め緋がやっと入荷してきました。他の問屋さんからも、板締め緋の白鷹はなかなか上がってこないという話を先日お聞きしました。板締め緋の技法は全国的にみてももうこの産地だけで、とくに緋糸を作るための板がもう作れないとのこと。現在ではほかの染め方を試行錯誤しているようで、本当の意味での白鷹お召が手に入るのももう数年かもしれないね。そんな貴重な板締め緋の技法をご紹介します。

### 白鷹お召の特徴

- 湯もみによる鬼シボ 独特の鬼シボにより単衣などでもさらりとした軽い着心地が特徴です。
- 板締めによる緋 経緯緋 (たてよこかすり) で作られる『小緋』と呼ばれる総緋は板締めによって出来上がります



溝を掘ったブナの薄い板に糸を巻きつけ何層にも重ねてボルトで締め上げていきます。染め舟という台の上に乗せて、熱した染料をかけていきます。板と板が重なった部分は染料が入らず、溝の部分は染料が通るので、染まります。



板締めによって染め上がった糸。黒い部分が溝の部分です。



白鷹お召はすべて手織りで織られています。年間生産数も数十反と少なく貴重な織物です。

板締め緋の最大の特徴は、反物の端にあるループ状のみみ。板で染めるため、糸を染める際の板の幅がこのループを生み出します。



twitter、facebook、アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちやフェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！  
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539